

# 額田木の駅プロジェクト概要

平成27年8月1日現在

## ■事業主体

額田木の駅プロジェクト実行委員会

委員 : 額田林業クラブ、ぬかた商工会、森林組合、岡崎市など

実行委員長 : 鈴木啓允(林業家、旧額田町町長)

## ■沿革

平成26年10月 準備会を開始

平成27年2月 実行委員会発足

平成27年5月 開駅式開催。原木の受付と地域通貨の流通を開始

## ■現在の仕組み

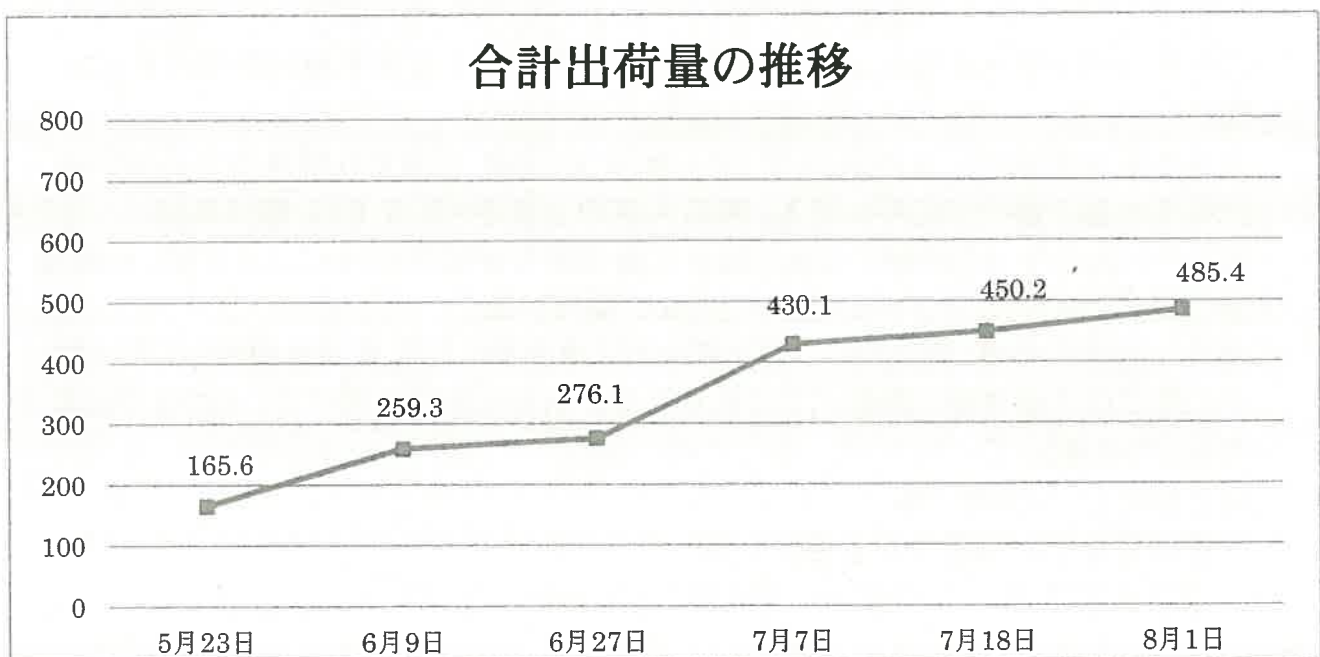
- ・ 1tあたり6,000円相当の地域通貨「森の健康券」で買い取り。
- ・ 原木は3,000円/tで岡崎市内のチップ業者(ヤマガネ商事)へ販売。
- ・ 不足分の3,000円/tは岡崎市より補てん(今年度は国の地方創生の交付金を活用)。
- ・ のぼり、チラシ等も今年度は交付金を活用。事務局人件費は手数料や寄付から充当。
- ・ 土場は額田地域内に8か所。トラック1台分(6t程度)が溜まれば業者が直接回収。
- ・ 出荷量は自己検尺で伝票に記入。末口×末口×長さ×0.75でトン数に変換。
- ・ 個人でトラック1台分を集められる場合は直接業者が回収に行くことも可能。その場合は業者のトラックスケールで計れるため、検尺不要。
- ・ 毎月1回実行委員会を開催。1週間前までに事務局へ出荷伝票を提出しておけば、その際に森の健康券を発券。(7月までは月2回発券窓口を設けて、その場で伝票を受付して発券)
- ・ 事務局は1ターン者3名。
- ・ 換金は月末頃に事務局が各店舗を回る。
- ・ 事務局手数料として出荷者から5%を徴収(発券時に差し引く)。

■出荷登録者数 80名

■登録商店数 46店舗(額田地域 および 周辺)

## ■木材出荷量および森の健康券発券状況

受付日	5/23	6/9	6/27	7/7	7/18	8/1	のべ
出荷人数	17	19	13	8	4	4	65
出荷トン数	166	93	17	154	20	35	485
森券発券量	940	530	90	878	132	200	2770



## ■ 今後の課題

- ・出荷者の偏り(素人山主へのフォロー、ボランティアグループとの連携を模索)
- ・販路の開拓(短材の受け入れでハードルを下げる。また、薪利用、建材利用などより高く売れる出口づくり)